

2023.03.12. 携挙はどれほど間近か

第二ペテロ 3章8節から10節

JD ファラグ牧師

主よ、私たちに手を差し伸べ、心に触れてくださりありがとうございます。主よ、この時間を祝福くださいますように。お父様、あなたの御言葉に入ります。どうか私たちの心を導いて下さい。この一日が満たされますように。主よ、この一日を通して、私たちを満たして下さいますように。あなたに感謝し賛美します。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。

おはようございます。ようこそ。ご着席ください。来てくださりとても嬉しいです。オンラインでご参加の方も歓迎します。ご参加くださりとても嬉しいです。「第二ペテロの手紙」を一節ずつ見ていきます。日曜の朝の第二礼拝、今日の箇所は、3章8節から10節です。皆さん、座ったばかりですが、可能であれば、しなきゃいけないのではなく、ご起立いただき、私が読むのに、ついてきてください。ご無理なら、座ったままでも結構です。聖霊によって、使徒ペテロは続けてこう語ります。8節、

ー Ⅱペテロ 3：8ー

しかし、愛する人たち（親愛なる友）、あなたがたはこの一つのことを見落としてはいけません。主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。

ー Ⅱペテロ 3：9ー

主は、ある人たちが遅れていると思っているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

ー Ⅱペテロ 3：10ー

しかし、主の日は盗人のようにやってきます。その日、天は大きな響きを立てて消え去り、天の万象は焼けて崩れ去り、地と地にある働きはなくなってしまう。

一緒に祈りましょう。私たちが理解できるよう、神に祝福をお願いしましょう。天のお父様、あなたの御言葉に感謝します。今日、私たちの目の前にあるこの箇所の御言葉に感謝します。主よ、大きな期待をもって、あなたを見上げます。聖霊によって、あなただけがおできになられるように、まず第一に、私たちの注意を引いて下さり、一旦、私たちの注意を引いてくださったら、保ち続けてくださいますように。私たちの思いが揺らがないように。特に、この箇所は、こんにちの私たちにとって重要な意味があります。主よ、あなたが御言葉を通して、私たちの人生に語られたいのを知っています。それは、質問でも祈りでもありません。祈りとは、あなたが語られるその時、私たちの人生にあなたが語られたい事に私たちが聞く耳を持ち、受け入れる心を持つことです。あなたは、常に語っておられ、導かれ、教えられます。しかし、私たちはあなたの御言葉に耳を傾け、学び、心に留めているでしょうか？ 主よ、だから今日、私たちはここにいるのです。聖霊によって私たちにそうしてくださいますように。主よ、聖霊のあの静かな小さな御声で語ってくださいますように。主よ、感謝します。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。ご着席ください。ありがとうございます。今回、私が常に大好きなテーマをお話します。いつも話しているようですけど、いや、理由があるんです。ちょっと待ってください。ペテロが語っているのは、そのことだからです。これは非常に深い意味ですけど、ペテロの手紙を節ごとに学んでいって、ペテロが語るのので、私たちもそれについて語るんですよ。何について語るのですか？ ええ、「携挙はどれほど間近か。」ネタバレですが、本当に近いです。今から見ていくように。実は、今日私がした

いのは、「イエス・キリストがご自分の教会を携挙される来臨が、どれくらい近いのか？」という質問に答えることです。理由は、聖霊によって導かれた使徒ペテロが、当時のクリスチャンたちに向けて書いている内容だからです。当時の彼らのためですが、どれだけ今の私たちに当てはまるのでしょうか。ペテロがしている事は、この問題を説明し明確にします。「主がなぜ遅れておられるのか？ なぜ主は戻られないのか？ 時間がかかっているように思える。もうそろそろ来られても良いだろうと期待しているのに。なぜ、主は約束を守る事をゆっ〜く〜〜り〜しておられるのか。」

(強調効果を入れました) ペテロが、前の節で、これを指摘しているのは、これが彼らが対処している問題だからで、主の来臨に関して、自分たちの心の中だけではなく、彼らをバカにし、嘲笑する者にも常に対処していたからです。主のこの概念に彼らを嘲笑し、バカにし、あざける者に。

「主の来臨の約束(興味深い単語)はどこにあるのか？ 何もかもが今まで通りではないか。なぜ自分の人生で起こると言い切れるのか？ みんな、自分たちが生きている間と思っていたんだ。」ええ、分かっています。使徒パウロでさえ、そう思っていました。「生き残っている私たちが引き上げられ」

(第一テサロニケ 4:17 参照) と語る時、パウロは私たちだったんです。もう一度言ってみます。—(笑)— パウロが 私たち と言う時、自分自身を 私たち と参照します。留意下さい。「第一テサロニケ 4章」ですよ。「携挙」定番の箇所です。留意すべきは、パウロはこうは書いていない事です。「生き残っている人たちが、引き上げられ」ではなく、そうではなく、「生き残っている 私たち が、引き上げられ」と言います。なぜ？ なぜなら切迫した教義で、「携挙が起こる前に起こる事は何もない。」

「パウロの時代に携挙は起こりえたの？」はい。起こらなくて良かったです。考えてください。少しじっくり考えてみましょう。携挙はいつでも起こり得る。待って。前提条件・予兆など、ないと言うのですか？ ありません。携挙は兆候なしの出来事です。携挙が起こる前に何も起こらなくていいのです。

この文脈で、使徒ペテロは彼らの心を落ち着かせたく、主が来られるのを遅らせているように、約束を守られるのが遅いように見えるのはなぜかを説明しています。しかし、間違いなくそうではないので、皆さんを励ましたいのです。私は、この箇所を教えるため、祈りと準備に時間を費やし、3項目に整理しました。この3項目は、私たちがどれだけ携挙に間近かを理解するため考慮すべき3要因です。

「携挙はどれほど間近なのか」では、その方程式で考えるべき3要因、

1つ目：「主のタイミング」

8節です。興味深いことに、ここでペテロは「詩篇 90:4」に言及しています。

— 詩篇 90:4 — (口語訳)

あなたの目の前には千年も／過ぎ去ればきのう(一日)のごとく、夜の間のひと時のようです。

では問うべき質問は、なぜペテロはこの詩篇を参照したのか、なぜペテロはこの要素を主の来臨に関する議論に持ち出したのか。理由は2つだと思います。1つ目の理由は、私たちの「有限での時間の捉え方」神は、時間を超越した無限の中に在られます。必要な視点で、視点を変えること、なぜなら神は、時間の神です。神は時間を創造されました。神は時間を超越して在られますが、時間のために私たちが創造されたのではなく、永遠のために私たちが創造されました。今、有限の私たちが、無限を理解し計り知ることは不可能です。ですから、誤解しないで下さい。誤解を恐れずに言えば、神には問題があらわれます。神に問題があらわれるのではなく、私たちが問題なのです。問題は、神がどうやって有限にいる私たちに無限を伝えられるかです。神は、擬人化したものを使わざるを得ません。擬人化とは何か？

私が話している事を自分が分かっているような気にさせますね。人間の視点で神を識別することです。

例：「神の御手」「主の御目」

これらは擬人化です。これは、神がどなたであられるかを、私たちの有限の考えで理解できるように、有限な人間の視点で説明されたものです。ですから、そういう事例をここで聖霊によって使徒ペテロは、書いています。「あなたのタイミングは、神のタイミングではられません。」衝撃！！

「私たちのやり方は、主のご方法ではられません。」「私たちの考えは、主のお考えではありません。」皆さんの考えが主のお考えでないことが嬉しくありませんか？ 想像してください。もし、私たちの考え方が、神のお考え方としたら？ どうです？ そうだったら、神ではあられないでしょう。これはどうです？「神のご方法は、私たちの方法ではありません。」神のご方法は、高尚過ぎて私たちには理解できません。なぜか？ 神は無限であられ、私たちは有限でしかないからです。だから再度、神はどのようにされるのか。ダウンロードという言葉を使ってもいいですか？ コンピュータでの例えは承知です。神は、これを容量に限りあるハードドライブにダウンロードされる。では、どうなさるのか。

主は、ご自身の来臨を正しい的確な視点に置くため、比較されなければなりません。これが、ペテロが「詩篇 90:4」を引用した理由のひとつです。これはある種の基準で、私たちは今、自分たちの手や心で分かるものを手に入れました。「分かりました。1日は、主にとって1日は、私たちの千年のようなもの。」それをよくよく考えてみると、これが、人々の髪を逆立たせます。まだ髪があるならね。-(笑)-

しかし、アダムから現在までが約 6000 年であると考え、今からからお話しますけど、6000 年です。このことを考えてください。良く考えてみましょう。主がアダムを創造されてから 6 日しか経っていないんです。それを視野に入れてください。それで一気に変わりますね。お～つまり、「6000 年という長い年月が経っている。」すると、神は仰られます。「1 週間前です。何を言っているの？」-(笑)- 皆さん、先週...ここにいましたよね？ いたと言ってください。いなかったかもしれませんが、いたなら、素晴らしい！ お気づきですか？ これは深い意味なのは分かっていますが、7 日経ちました。

時間を超越し、時間の外に在られる神の無限のご視点から、考えてみましょう。神は、月曜日にアダムを創造されました。私たちは今、日曜日ここにいます。神は、月曜日にアダムを造られ、今、それから 6 日後です。それって役に立ちます？ そうだといいいのですが。私にできる精一杯です。-(笑)- 2 つ目の理由は、この話をしたかったのですが、とても力強いです。皆さん私同様なら、そうだと思いますが、聖書の類型論や聖書の数秘学の観点からも驚くべきです。どういう意味ですか？ 聖書全体に、「型」「影」「絵/描写」が私は聖書描写と呼びますが、至る所にあります。まだ現れていないものの「絵/描写」、類型論です。例えば、このような話をしましたね。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴを使いましょう。いえ、エノクとノアにします。全部良いのですが、エノクとノアにしましょう。エノクは、教会の型、ノアは、イスラエルの型です。いいですか？ では、エノクについて知っていることは？ ある日、エノクは、いつもと同じように目を覚まし、いつもと同じように着替えました。彼は、神と共に歩きました。突然、バ～ン！！ 彼はいなくなりました。(創世記 5:24 参照)

なぜか？ 神が彼を取られたからです。どこに？ 神は、エノクを携挙されました。洪水「前」に。つまりエノクは、患難「前」携挙の教会の描写です。では、イスラエルの描写のノアとその家族はどうです？ ノアたちは、洪水に入り、洪水のど真ん中で救われます。それがイスラエルです。イスラエルは患難時代に入り、患難時代のど真ん中で救われます。イスラエル全家が救われます。それが患難時代の目的です。OK。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ。そうしましょう。お～因みに「7」、「7」が関係します。お付き合いください。ご忍耐くださいよ。ノアとその家族は、箱舟の中で、雨が降り出すまでの 7 日間を過

しました。それが7年の患難時代です。早送りします。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴは7倍燃え盛る炉に投げ込まれました。6倍、8倍ではなく、7倍です。なぜ？ 7年間の患難時代の型だからです。その経緯はご存じですね？ 実話です。これは実際にあったことです。彼らは火の中に放り込まれました。この火はとても熱く、彼らを生きのまま燃やそうと投げ込んだ人たちが焼け死にました。そういうことがあり、突然、ネブカドネツアル王は言いました。

「待て！ 3人を炉に投げ込んだはずなのに、4人いる。4人目は神の子のように見える。」(ダニエル 3：25 参照) だって、そうだからです！ それはイエスです。ベツレヘム前の顕現イエス・キリストです。この7倍燃え盛る火の炉の中で、ユダヤ人を救われます。7年間の患難時代のど真ん中で救いに辿り着くユダヤ人国家の型で、影で、描写です。ここまで大丈夫ですか？ どうしてそんな目で私を見るんです？ ダニエルはどこ？ そこにはいません。なぜ？ お～炉の「前」に、エノクは洪水の「前」に、ダニエルは、炉の「前」に、高い地位に上げられました。教会の描写、患難前携挙の型です。ところで「携挙とは何か」をここで簡単に説明する時間を割くべきかもしれませんね。このような問いに答えたり、質問をされた方は間違いなくいらっしやるでしょう。「聖書のどこに携挙という言葉が書かれているのですか～？」彼らはそういう言い方で言います。イエスの御名によって。そう言う人にこう答えて下さい。「ラテン語の聖書なら、第一テサロニケ 4章 17節にあります。お～あなたは、英語の聖書ですか？ ごめんなさい。」

ラテン語「ラプトゥラス (rapturous)」を英語に訳したのが「ラプチャー (rapture)」ですから皆さん、基本的に答えてください。私のように過激にならずに、親切にね。「携挙 (ラプチャー) という言葉は聖書にあります。ラテン語の聖書なら、そこに書いてあります。」ラプトゥラス (rapturous) と書いていて、訳すと、ラプチャー (携挙) です。英語では、2語。引き上げられる (caught up) ギリシャ語「ハルパツォ」それが携挙・ラプチャーです。大いなる力、大いなる速さで引き上げることです。それが携挙です。「それって再臨ですか？」いいえ。携挙は、患難時代の前です。再臨は、患難時代の終わりです。ある人が適切に言ったように、携挙とは、イエスが私たちのために来てくださること。再臨とは、イエスが私たちと一緒に来られること。主と共に何万人もの主の花嫁としての私たちと一緒に。ですから、主を褒め称えましょう。一拍手一 さて、今どこまでいきました？ 既に力強く深い説教が進行中でしたね。お、そうそう、型があります。私たちには、数秘学と類型論です。ペテロが私たちに語ったのは、こういう視点を目安的に私たちに与えました。

「主の一日は千年のようです。」(II ペテロ 3：8)

いいですか？ これで私たちは、スタート地点に立ったのですよ。それが本当なら、「近い」という意味です。なぜなら7日目は、6の後に7が来るからです。-(笑)- 安息日は、1000年です。「それって千年王国じゃないですか？」そうです。待って、6日=6000年は、アダムから現在までです。携挙が起こり、7年間の患難時代が始まり、7年の患難時代の終わりに再臨です。その後、千年王国です。そう、それが7日目/1000年です。ペテロがここで何を言おうとしているかわかりますか？ ペテロがここで何をしようとしているかわかりますか？ 更に良くなりますよ。小預言書、特に「ホセア書 6章 1-2節」を読んでみます。こう書かれています。

一 ホセア書 6：1一 (口語訳)

さあ、わたしたちは主に帰ろう。主はわたしたちをかき裂かれたが、またいやし、(これがイスラエル) わたしたちを打たれたが、また包んでくださるからだ。特に注目してほしいのは、次です。

ー ホセア書 6：2 ー

主は、ふつか（二日）の後、わたしたちを生かし、三日目にわたしたちを立たせられる。わたしたちはみ前で生きる。

ほ～、ちょっと待ってくださいよ。はい、1000年という尺度に戻りましょう。私、楽しみ過ぎてますね？あなたのように楽しみたいわ、と仰るでしょう。では、皆さんがもっと楽しくなるよう頑張ります。「え、それって、2000年？」そうなんです。「では、アダムからキリストの初臨までが4000年？」
そうです。またしても、深い意味ですが、 $4+2=6$ です。そして、3日目に復活します。お！お！お！3日目です。さあ、点と点を結んでください。それが復活です！3000日目の朝の始まりです。ここまで大丈夫ですか？ $4+3$ は？（会衆：「7」と叫ぶ）神様.....時間がかかりすぎましたね。「7」です。「7」ですから、2日=2000年。

「イスラエルは打ちのめされた？」はい。

「イスラエルは裂かれたのですか？」はい。

「イスラエルは縛られたのですか？」はい。

2日/2000年後、彼らはどうなりましたか？ ああ、彼らは復活し、自分たちの土地に帰ってきました。それは2日後のことで、私たちはまだ終わっていません。なぜなら、三日目、彼らは立ち上がり、復活します。それが7日目です。それが、イエス・キリストとともに地上を統治する千年王国の始まりです。
ー 拍手喝采 ー「それで、牧師さん、何がポイントですか？」私にはポイントがあります。私が言いたいのはこれです。主が来臨を遅らせてるように思え、ああ、ただ長過ぎる。まだ6日しか経ってないんです。「携挙がどれほど近いか」という問いに答えたいなら、これが良い知らせです。これによると、私たちは6日目の終わりにいるようです。イスラエルにとっては、2日目の終わりです。2日目の後は？ありがとうございます。3日目。その方が良かったですね。3日目です。では、私たちはどれくらい近いのか？皆さん、視野に入れてみてください。とても近く、想像以上に間近です。その理由は、6日経っているからです。ですから、もういつでも起こります。ゆ～っく～り～みたいに思いますね？ そんな遅くないですね。そういえば、先週こんなことを考えていました。実は、このことを妻にも聞いてみました。「もう明日が日曜日だと信じられない。」これが私の土曜日です。土曜の夜、私の周りには良くないですよ。毎週日曜日が、時間通りにやってきます。ー(笑)ー 時間通りに来続けるのではなく、そうこうしているうちに、「主よ～～！今日が何曜日かご存知ですか？」「はい、わたしが「日」を創りました。JD、今日が何曜日か知っています。」「日曜日が来ます！」「知っています。毎週来ます。」しかし、私の問題は、それがさらに速くなっているように感じることです。おお、よかった。その反応ありがとうございます。物事がそんな風に動いているように皆さん感じますか？ 論理的でないのは分かりますが、なぜか物事がスピードアップしてます。私の世界では、昨日が月曜日で、もう日曜日なんです。今日は日曜日です。昨晚寝た時、月曜日だったみたいで、目が覚めたら、もう日曜日です。それが私の言いたいことです。ー(笑)ー 速いです。近いです。もうすぐです。速攻です。イエスは「ヨハネの黙示録」で何度もギリシャ語で非常に興味深い単語を用いて、こう仰います。「見よ、わたしはすぐに来る。」「見よ、わたしはゆっく～り～来る。」と仰らず、本当によかったです。あなたはそう思っているでしょ？ 違います。「見よ、わたしはすぐに来る。」新約聖書原語ギリシャ語で、タコス (tachos) という単語です。タコス (tacos メキシコの食べ物) ではありません。(笑) 英単語 Tacho-meter/タコメーターの語源で、1分あたりの回転数 (RPM) を表します。設定時間は1分です。基準は何か？ 1分間の回転数です。

では、イエスが仰っていたのはどういう意味ですか？ 主が仰っているのは、
「見よ、わたしは物事が加速し高まって速く動いている時に来る。」物事は早く動いていますか？ どう
です～～？（会衆：はい）ですから、近いんです。主のタイミングは、私たちのタイミングではありません。

2つ目：「主のご忍耐」

9節です。さて、この2つ目の要因、個人的な話です。是非一緒に考えてほしいのです。特に、私の年
齢に近い方に。1981年に携挙が起こると確信する人たちがいたのを覚えていますか？ そうでなくて本
当によかったです。私は1982年に救われましたから。一(笑)一 では、どれくらい近いのか？ 近いで
すが、主は忍耐強くあられます。「主は忍耐強い」とってどういう意味ですか？ 主は、誰一人滅びるこ
とを望んでおられません。誰も滅びることなく、すべての人が悔い改めることが御心です。ここで、この
「悔い改め」という言葉について話す必要があります。実は親しい友人が「悔い改めという言葉の使い方
から悔い改める。」というタイトルの教えをしたからです。今、皆さんの注意を引きました。少なくとも
聖霊がされましたね。どういう意味ですか？ 私たちはこの「悔い改め」という言葉を誤用し、乱用してき
たとさえ言えます。そして今や、それを救いの事前条件としました。つまり、「あなたは救われる必要が
あります。」「どうやって救われるんですか？」「まず、悔い改める必要があります。」「おほ。。しなきゃ
ならないことがあるということですか？」「はい。悔い改めねばなりません。」では、「悔い改める」とい
う言葉を聞いて、何を思い浮かべますか？ 私は、皆さんの心は読めません。待って。いいえ、皆さんの
心は読めません。「悔い改める」という言葉を聞いて、何を思い浮かべますか？「きちんと行動する」「自
分の振る舞いを改める」でしょ。悔い改めとは、そういう意味ではありません。それなら何と不条理でし
ょうか。「主の御前に行く前に、自分の行いをきれいにする必要があります。」は～？

主がこう仰るようです。「なぜシャワーを浴びるのですか？ わたしがお風呂に入れるのに。わたしがあ
なたをすべての不義から清めます。」

時々、誰かがこう言うのを聞いたことがありますか？ いつもユーモアある方法ですが、「教会には行かな
い方がいい。壁が崩れ陥ちる＝逃げられない。」私たちが何だと思ってるのでしょうか？（仏教僧侶みたく）
聖なる...聖なる...聖なる... 一(笑)一 月曜日、私たちを見るべきですよ。全く違いますから。彼らの教会
に対するイメージは「行動を共にする人たち」なのです。いいえ、私たちは違います。私がこのことを言
う時、隣の席の人を見てはいけませんよ。私たちは恵みによって救われた、汚れて、腐った、悪臭を放つ
罪びとです。「悔い改め」という言葉に話を戻します。悔い改めとはどういう意味でしょう？

言いますよ。「思いを変える事」待って。何って？それが「悔い改め」で「思いを変える」という意味で
す。「待って。私は、決断しなければならぬのでは？」いいえ、ただ思いを変えれば、神があなたの心
を変えられます。主は、あなたにご自分を押し付けられないからです。神はあなたに、自由意志を与えて
おられます。先週だったか、木曜日の夜だったか、この話をしましたが、神は、私たちに強いられるの
ではなく、愛によって神を選ぶことを望まれます。それ故、罪をそのままにされたのです。また、ルシフ
アーを瞬殺されなかったのもそのためです。私なら完全にそうしていたでしょう。ルシフアーがこう言
った時、「私の王座を上げ高き者のようになろう。」（イザヤ 14：13-14 参照）

その場でルシフアーを瞬殺されませんでした。私なら、「あっそう、お前が？」バツサリ瞬殺。一(笑)一
「他にそうになりたい者は？」一(笑)一もし、神がそうされたら、どうなっていたでしょうね？ 天のす
べての軍勢たちは、恐れから神に仕えるようになったでしょう。お～彼らが何を囁いているか、聞きまし

たか？「ねえ、ルシファーに起こった事、聞いた？」「うわ～～！嘘～～！」「本当だって。」「あり得ない！」「あり得る！」「神がその場で瞬殺したの？今から言動に気をつけないとね。」いいえ、神はそれを望んでおられません。神は、私たちが礼拝するのを望んでおられます。主は、私たちが主を愛し、主に仕えることを望まれるのであって、そうしなければならないからではありません。「特権」であり、「義務」ではありません。つまり、悔い改めとは、思いを変えることです。思いを変えると、それまで進んでいた方向が変わります。そして、悔い改め＝思いを変えるなら、あなたは違う方向へ、180度変わります。それがキリストの下に来る時です。レ点を入れる欄とは違います。「私は悔い改めます！」

（レ点）待つて。あなたは悔い改めたの？ 悔い改めの意味を知っていますか？「ええ、私は悔い改めました。また悔い改めて、810回目です。」前提条件ではありません。あなたはただ信じるだけです。それがあなたがするすべてです。

「神は、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。...（ヨハネ 3:16 参照）

それは――悔い改める者が、いいえ、「信じる者が」です。すみません、ちょっと激しい言い方でしたね。それは御子（イエス）を信じる者が、じゃあ、自分の思いや信じ方を変えてみよう。私はただ、そう悔い改めただけで、そのことも知りませんでした。それが悔い改めですね。私たちがしている「救いのABC」、もう数年になりますけど、世界中で人々が救われていますよ。誰が知ってましたか？（会衆：ハレルヤ！）とてもシンプルなんです。世界中の人々からいつも証を貰います。「私はただ、救いのABCを聞いただけです。まさか、そんな簡単なことで。」そうなんですよ。「まずすべきことかと思いました。悔い改めとか？」いいえ、信じるだけです。イエス・キリストに信頼を置き、信じれば、救われます。それが悔い改めです。私にとっては、今から40年、、わお～41年前です。ほお、41歳にしては、かなりイケてると思いますね。まだ41歳だったらいいのに。実は、そうでもないですね。考えたら。年齢と知恵というものがあると思いますね。41年前、本土での1月の寒い夜でした。私は何も知らなかったんです。私が知ったのは、誰かが私でも理解できる簡単な方法で、福音の説明しているのを聞いただけです。当時ルームメイトと一緒に生活していました。部屋に入ると、、自慢にはなりませんが、どうか、これを話すとき、ご理解ください。私はとても酔っ払っていて、ドラッグもしていましたから、何というか、祈りながら寝たんです。私の祈りは、こういうものではありませんでした。

「今日、おお、神よ、悔い改めます。」正直なところ、これは大げさな話ではなく、私は文字通りこう祈りました。「地獄に、行きたかない。。。天国に、行きたい。」そして、私は救われました。何が起ったのか？思いが変わりました。私は、イエスを信じました。そのまま眠ってしまい、翌朝、目が覚めると、新しく創造された者になっていました。私は、まだ何も知りませんでした。私の一日の始まりは、酒、タバコ、ドラッグ、その他もろもろ。それに手を伸ばそうとすると、、私の中に聖霊が住まわられていて、仰います。

「もうあなたに必要ありません。」私はこうです。「私には必要ですよ。」自分の意志の力で止めようと何年も試みしました。聖霊が「いいえ、もう必要ありません。」と仰り、欲する気持ちが取り去られました。聞いてください。人によって違うのはわかります。私にとってはかなり劇的でした。そうでなければならなかったのだと思います。私はそういう事例だったのだと思います。分かりますね。とても劇的でしたね。つまり、ただ欲っしなくなりました。突然、私の中の聖霊が、神の事への飢えと渴きを生み出されました。それで、聖書を読みたいと思うようになりました。今まで私に、聖書を読ませることなど決してできなかったのに。しかし、私は思いが変わり、神は、私の心を内外から変えるプロセスを開始されました。それで、聖書を買に行きました。私は間違えて欽定訳聖書を買ってしまいました。それしか知らなく

て、読み始めましたが、は～??? 無礼を言っているんじゃないありません。欽定訳聖書をととても大切にしている方がいるのは知っています。ご存知でしょうが、「汝、汝は、汝を。」これは私には合わないと思いました。それで当時、グッドニュース・バイブルと呼ばれていたものを買いました。これは語彙が、それでも無理がありました。語彙が限られていていました。それで読むと、止まりませんでした。今までそんなこと決してなかったのに。しかし今、私は新しく創造された者です。それが1982年のことでした。イエス様、1981年に戻られなかったことを感謝します。

私は患難時代に入っていたでしょう。どうなっていたか誰が分かります?何年に救われましたか? 答えないで良いです。皆さんは、自分が何年に救われたか知ってますね。ところで、ここにいる人で、主の御名を呼び求めたことがなく、心で信じたことがないなら、私たちはあなたをそうするまでは、帰らせませんよ。一(笑)一 繰り返しますが、神は強いられません。神の御霊によって生まれ変わった私たちは、いつ救われたか知っていますね。間違いません。でも、あなたが救われたその年よりも前にイエスが来られなくてよかったと思いませんか? それをペテロが語っているのです。神は忍耐強くあられ、誰も滅びることは神の御心ではありません。すべての人が救われるのを望んでおられます。地獄は、人のために造られたものではありませんよ。地獄は、悪魔と悪霊のために造られたのであって、人のためではありません。ある人が適切に言ったように、もし誰かが永遠に地獄に行くなら、キリストの死なれ、葬られ、復活された御体を越えて行きなさい。あなたが地獄に行かないように、主は死なれました。ですから、主は忍耐強くあられます。これが最後の3つ目に繋がります。これについては説明が必要です。

10節をご覧ください。「主の日」私たちが愛称する「今日が主の日」と混同しないように。これは「主の(その/特定の)日」として理解するのがよいでしょう。10節の「主の日」と、御心なら、来週12節の「神の日」を区別するのは、今がちょうどいい機会かもしれません。区別があります。「主の日」とは何ですか? 「主の日」とは、7年間の患難時代の開始です。「主の日」とは、携挙ではありません。「主の日」とは、患難時代、患難時代の開始です。「神の日」とは何ですか? 御心であれば、来週見ていきます。しかし、「神の日」とは、千年王国後の新天新地のことです。それが「主の日」で、これが「神の日」です。それが区別です。しかし、今日の内容と学びの目的のため、「主の日」に焦点を合わせたいと思います。これが最後の要因です。私たち一人一人の励みになるはずです。主がご自分の花嫁を携挙されるときに現れる、「現れ」、再臨ではなく、主の現れを切望している人々に。主は地上には来られません。主は私たちを捕らえ、地から引き上げられます。それが「現れ」です。それは聖書全体を通して非常に明確です。おもに、第二テサロニケ2章にあり、このことについてよく話しますね。今日学ぶ内容のために、少なくとも参照するのが適切だと思います。使徒パウロは、テサロニケの教会に宛てた2通目の手紙「第二テサロニケ人への手紙」を書いています。彼の一通目の手紙後、まもなくで、ちなみに、聖霊が導かれパウロに書かせられた最初の手紙が、「第一テサロニケ人への手紙」でした。興味深いことに、テサロニケの教会は若い教会でした。実年齢ではなく、霊的に、です。彼らは新しいクリスチャンでした。パウロ自身が始めた教会です。そして彼が、そこに滞在したのは、確か長くても3週間ほどだったはずで。なぜこれが重要なのでしょうか? 彼は、彼らに手紙を書くとき、自分が彼らと一緒にいたときに教えたことを思い出させるからです。一緒にいたとき、パウロは何を教えたのか?

携挙です。「あ～それは無理ですよ。彼らは新米信徒なんだから。信仰の基本を教える必要があります。」これは基本中の基本です! 福音です!! ちなみに、それが聖霊に導かれ使徒パウロが初めて福音を述べた時です。「第一コリント15章」ではありません。それは後に書いたものです。なぜそれが重要な

か？パウロはこう語るからです。「これが福音です。私はそれを説きました。3週間、あなたがたと一緒にいた時のことを覚えていませんか？」彼が死の恐怖にさらされて文字通り、町から追い出される前です。彼は、この教会を愛し、もっと長くいたいと思っていました。それでパウロは彼らに手紙を書き「私がそこにいたとき、携挙について教えたことを覚えていませんか？」

それが福音です。福音って何？福音とは、イエス・キリストが十字架にかけられ、葬られ、3日目によみがえられた。ーそこで止めないでください！ーそれは完全な福音ではありません。完全な福音とは、使徒パウロが初めて福音について言及した「第一テサロニケ人への手紙」にある通り、(イエスが)十字架にかけられ、葬られ、3日目によみがえられ、そして、携挙がもういつでも起こる事。それが福音、良い知らせです。それって良い知らせじゃないですか？つまり、もし良い知らせが「ええ、イエスは死からよみがえられた。ご機嫌よう。良い知らせだね。」軽んじているわけではありません。

でも、今朝思ったのですが、正確には、資料を調べるべきだったかもしれませんが、皆さん恵みをお願いします。「使徒の働き(1:9-11参照)」でイエスが天に昇られたときを思い出してください。弟子たちが見つめていると、主の御使いが彼らに言いました。「何を見つめているのですか？主は、天に上って行かれるのをあなたがたが見たのと同じように、またおいでになられます。」わお～それが良い知らせです！で、ペテロは言います。

「主の日は盗人のようにやって来ます。」(II ペテロ 3:10)

盗人。この話はしましたね。この描写に飽き飽きしないでほしいのですが、盗人は、前もってテキストメッセージを送ってくることはありません。

「午前2時に盗みに入ります。ご都合どうですか？」なんて。そうではなく、盗人は予想できません。ここが全ポイントです。ペテロが言っているのは、(携挙が)とても近く、誰も予想できないほど近いということです。夜中に盗人が来るのを予想しないのと同じです。ああ、例えがあります。さっと言います。第一礼拝、「聖書預言・アップデート」で話しました。2週間ほど前、3週間近く前に、我が家の電気が使えなくなりました。あの暴風ではありません。それで、予想していなかったし、準備していませんでした。そのことが実際、非常にトラウマになりました。その時、私はトイレにいたからです。

「何？」っていう感じで、復旧するのを待っていますが、復旧しません。真っ暗です。サタンのDevice/策略、いえ、Device/機器を神に感謝します。フラッシュライト搭載の携帯です。フラッシュライトをつけました。「懐中電灯やランタンや電池はどこ？」という感じで、見つかりませんでした。そして、いざ見つけたら、どうです？電池が切れています。何が起こったか良く分かりますよね？電池切れです。全く準備できていませんでした。なぜ？予想していなかったからです。ですから、盗人が来て、全く準備できていません。なぜ？予想していなかったからです。つまり、ここでペテロが言っているのは：「いいえ、予想しなさい。」それで、電気が復旧したのは6時間後です。-(笑)- どうとでも。

面白いことに、通りの向こう側を見ると、まだ電気がついているんです。私は考え始めます。「これはどうなんだろう。私たちだけ？ふむ。。。」ともかく、私の悩みはもういいとして。やっと電気が使えるようになりました。イエーイ。私が何をしたか知っていますか？懐中電灯5328個、ランタン、電池を3箱を購入しました。電気が止まって扇風機やエアコンがないと暑いので、電池式の扇風機も用意しました。ああ、私たちはとても甘やかされ、軟弱ですね。大変でした。言っておきますが、私はこの件で完全にPTSDになりました。とにかく、電池式扇風機も手に入れました。もう準備はできています。どうなったかわかりますか？風が強くなってきて、電気が止まりました。私はこんな感じで、「はっは。こんにち

は！ 停電さん。ー(笑)ー 予想してたんだよ。」ー(笑)ー それがペテロの言っていることです。

「準備して、備えなさい。」「ええ、でもそんなことは起こりません。今まで起こっていません。起こるのには時間がかかります。主はゆっく〜りしておられるようです。」 違います！ 電気や停電の出来事は、私が説教の例えとして入れるのに必要だと神がご存知だったと思います。だから、ご近所さんは停電していなかったんでしょね。とにかく、で、突然、事は起りました。夜中の盗人のように。もういつでも起こり得ます。では次に、タイミングについての視点を話しましょう。今、この瞬間も、こういうことをすると変に思われますが、賜物なんです。今、電気が止まるかもしれません。止まらないでね。ー(笑)ー まさか今、そんなことが起こるとは皆さん、思ってもないでしょう？ だって貿易風が吹いています。惑わしの貿易風です。嵐やハリケーンの風が変わるからです。でも、今は晴れています。

お天気です。貿易風があつて。予想しませんよね？ 起こり得るので想定してください。とんでもないですが、誰かが電柱にぶつかって、電源にあたりたり、木にぶつかって、枝が電線に倒れたら停電しますよ。携挙はそういうものです。それくらい携挙は近いのです。そんな風に起こり得るんです。突然に。このことをきちんと視野に入れておきましょう。ここで、一読しただけではなかなか分からないことをひとつだけ紹介して締めくくります。will という単語に関係します。特にこの文脈では、will がとても気に入っています。ペテロは、主の日が「来る/will come」と言っているからです。天は「消える/will disappear」天の万象は「壊される/will be destroyed」地は「むき出しになる/will be laid bare」それが「起こる/will happen」いつ？ すぐです。どのくらいすぐ？ 非常にすぐ。今日ですか？ もしかしたら。

そうです。そんなに近いのですか？ さっき、私たちは6日目の終わりにいると知りましたね。イスラエルにとっては、2日目の終わりです。私たちはそこにいます。そこにいるんです。携挙がどれほど近いかという問いに、このことを織り込んで、理解して答えましょう。いつ起きてもおかしくないほど近いのです。準備してください。備えてください。デビッド、上がってきてください。ご起立ください。祈りで締めくくりましょう。携挙の話をするのが大好きです。因みに、もう誰も携挙について語りません。ご存知ですか？ 「あまりに物議をかもすから。」と彼らは触れません。「いろんな見解があるでしょうね。」と。いいえ、ここ（聖書）に唯一の見解があります。

天のお父様、祝福された希望を本当に感謝します。この滅びゆく邪悪な世から抜け出すための、本当に唯一の希望です。私たちにあるこの希望は「あなたはもういつでも来られる」です。突然に起こり得ます。あなたが仰る御言葉に基づく通り、私たちは終わりの時にいます。ですから主よ、これがあなたの来臨を待ち望み、落胆しているかもしれない人々の励みになりますように。しかしまた主よ、必要であれば、かつて今よりもっとあなたのために燃えていた人々に火を灯してくださいますように。冷やされたのかもしれない。主よ、私たちが近いからこそ、再燃させてくださいますように。主よ、この箇所とそれに続く節を感謝します。主よ、ペテロにこれを書かせて下さった事を感謝します。私たちはこれを聞く必要があります。これを聞きたく、知りたいからです。主よ、感謝します。イエスの御名において祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7

